



**2005年国際女性の日
第4回公開フォーラム開催のお知らせ
「しなやかな社会を目指して
女性とエンパワーメント 過去・現在・未来」**

3月8日が「国際女性の日」と定められてすでに一世紀。世界中でさまざまな団体がこの日を祝っています。国連では1974年を「国際女性年」と定め、それ以降毎年この「国際女性の日」を記念したイベントを開催し、ジェンダーの平等と女性のエンパワーメントの促進、啓発に一層取り組んでおります。さらに2002年からは、日本にある国連機関が公開フォーラムを国連大学で共同開催しております。

今年の公開フォーラム「しなやかな社会を目指して～女性とエンパワーメント 過去・現在・未来」では、1995年に北京で開催された「第4回世界女性会議」から10年を振り返り、これまでの成果や課題そしてこれからの社会について考えます。当時画期的とされた「北京行動宣言」は、各国の首脳や女性団体から強い熱意と固い決意をもって採択されました。あれから10年。わたしたちの社会は、女性の権利とジェンダーの平等という目標にどれだけ近づいたのでしょうか。フォーラムでは4人の講演者・パネリストを招き、「女性と開発」、「女性とビジネス」、そして「女性と災害復興」という様々な側面から、これまでの取り組みを振り返るとともにこれからの課題について議論を深めたいと思います。

ご参加ご希望の方は、下記申込書にご記入の上、3月4日(金)までにFAX 03-3499-2828またはEメール womensday.2005@hq.unu.edu でお申し込みください。

日時: 2005年3月8日(火) 14:00-17:30 (受付開始 13:30)

場所: UNハウス ウ・タント国際会議場(3階)

〒150 8925 渋谷区神宮前 5-53-70 (JR渋谷駅より徒歩10分、または地下鉄表参道駅より徒歩約5分)

プログラム

司会: ラメシュ・タクール 国連大学上級副学長

14:00 - 14:10 **コフィー・アナン国連事務総長のメッセージ** (ラメシュ・タクール 代読)

14:10 - 15:00 **基調講演: 広中和歌子 参議院議員**

15:00 - 15:45 **女性のエンパワーメントの課題と展望**

「女性、開発と国連」 堀内光子 (国際労働機関ジェンダー特別アドバイザー)

「女性とビジネス」 奥谷京子 (女性のための世界銀行日本事務局長)

「女性と災害復興」 ヒランティ・ウィシェーマンナ (南アジア女性基金事務局長)

15:45 - 16:30 **質疑応答**

16:30 - 16:45 **写真展『A DAY IN THE LIFE OF AFRICA』特別展～女性の生きる姿 オープニング**

期間: 3月8日～4月22日 (共催: オリンパス)

16:45 - 17:30 **コーヒー・タイム&インフォメーション・マーケット (2階)**

2階レセプションホールにてコーヒーをご用意しております。また共催国連機関がジェンダー関連活動を中心に紹介する「インフォメーション・マーケット」を開催しておりますので是非お立ち下さい。

(日英同時通訳付)

共同主催: 国際労働機関 (ILO)、国連開発計画 (UNDP)、国連環境計画国際環境技術センター (UNEP IETC)、国連人口基金 (UNFPA)、国連ハビタット (国連人間居住計画: UN-HABITAT)、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、国連広報センター (UNIC)、国連児童基金 (UNICEF)、国連プロジェクト・サービス機関 (UNOPS)、国連大学 (UNU)、世界食糧計画 (WFP)、世界保健機関健康開発総合研究センター (WHO 神戸センター)

協賛: 国際ソロプチミスト アメリカ 日本東リジョン

お申し込み用紙

3月4日(金)までにお申し込み下さい

返送先: 国際女性の日事務局 Fax: 03-3499-2828/ Email: womensday.2005@hq.unu.edu

名前(ローマ字)	
役職/所属	
住所	
Tel () -	Fax () -
	Email:
職業	() 大使館関係 () 国際機関関係 () 政府機関 () NGO () 学界 () 報道 () 学生 () ビジネス () その他(具体的に:)

注: 登録ご確認の通知は致しておりません(満席のためお席をご用意できない場合のみご連絡致します)。また当日お車でのご来場はご遠慮下さい。国連大学へのアクセスは国連大学のウェブサイト <http://www.unu.edu/hq/ginfo/unu-location.html> をご覧下さい。